



あけましておめでとうございます

令和 7 年のお正月は晴天に恵まれ、穏やかな新年の始まりとなりました。二週間の冬休みは、いかがが過ごされましたでしょうか？

新年が、子供たちにとっても保護者・地域の皆様にとっても、よい一年でありますよう心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



さて、1月8日（水）には子供たちの元気な声と笑顔が学校に戻ってきました。冬休み期間中、特に大きな怪我や事故の連絡もありませんでしたので安心しました。

学校では今年度もいよいよ残すところあと 3 ヶ月となり、各学年とも「総まとめ」の時期に入りました。朝会の校長講話の中でも触れましたが、年度初めに立てた学級目標や個人目標をもう一度このタイミングで振り返り、残り期間で達成できるように励んでいってほしいと思っています。



久しぶりの学校で

1月8日（水） 久しぶりに会った友達や先生に、冬休み中のできごとを話す姿があらこちらで見られました。クラスによっては「さいころトーク」や「ビンゴ」などのゲーム的な要素を取り入れ、友達同士、冬休み中のできごとを伝え合う機会を作っていました。



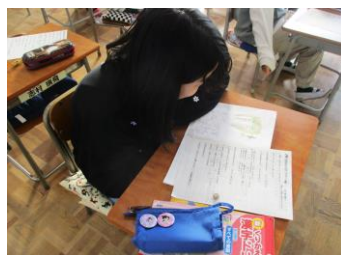
2年生
「さいころトーク」の形式で話している時の様子



3年生
「ビンゴゲーム」の形式で話している時の様子

この学校だより『地球っ子』の 5 月号でもお伝えしましたが、本校の校訓のひとつに『知』というものがあります。この文字には、「いろいろなことを体験して、考えたことや感想をいろいろな人に伝えよう。」という意味が込められています。この日の子供たちは、まさに「自分が経験したことを感想とともに進んで伝える」ことができていました。目を輝かせて、楽しかった思い出話に花を咲かせている光景が、とても印象的でした。

また、新年なので「今年の個人目標・抱負」を書いているクラスもありました。それぞれ「頑張りたいこと」や「なりたい姿」を思い描き、今年の目標のカードに真剣に書き込んでいました。



昨年を振り返り、今年の目標・抱負を考えて書いている様子



席書会（書初め）

各学年で「席書会（書初め）」が行われました。1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆を使って、気持ちを入れて書いていました。





昔の日用品だった毛筆が鉛筆に替わり、鉛筆がキーボード入力に替わろうとしている現代ではありませんが、日本の伝統を学ぶ意味でも、とても貴重な機会だったと思います。集中力や気持ちのもちかた次第で、文字の形が大きく変わってしまうのも、書初めの難しくも面白いところかもしれません。

子供たちは引き締まった空気の中、手本を見ながら力強くのびのびと書いていました。



玉ねぎの苗を植えました

昨年12月9日(月) 今年度もNP0法人「小田原食とみどり」様のご支援により、玉ねぎの苗を全校の児童で植えました。事前にJAかながわ西湘青壮年部の方々に苗床を作っていただいたところに、細長く可愛らしい苗をていねいに植えていきました。春に収穫をするこの活動は、稲作活動と並んで、「自然と触れ合いながら命を育み食を考える」本校の大切な活動の一環になっています。春の収穫が今からとても待ち遠しくなりました。



歯科刷掃指導(1年生)

昨年12月6日(金) 1年生が「歯みがきのコツ」を学習しました。少しずつ親の手を離れ、自分で自分のことができるようになりつつあるこの時期に、歯みがきのコツを教えてもらうのは、とても意義のあることです。数年前までは、コロナ禍で思うようにできなかったこのような指導ですが、できるようになったことをとてもうれしく思っています。

一生使っていく大切な歯。しっかりと磨いていきましょう！



「家庭学習がんばり週間」

11月下旬、第2回「家庭学習がんばり週間」を行いました。そもそも「家庭学習」とは、「宿題(担任が指定したプリント等の課題)」と「自主学習(自分で好きな内容について自由に調べたりする学習)」をまとめた名称です。「家庭学習」の時間は一般的に「学年×10分間」(例:6年生の場合、6×10分間=1時間)と言われ、本校でも「家庭学習の手引き」の中で紹介し推奨しています。

低学年のうちには教師が出す「宿題」がメインになりますが、学年が上がるにつれて「自主学習」にかけられる時間が多くなることが望ましいです。「言われたことだけをやる」「やらされている」ではなく、「自ら学ぶ力」を身に付けてほしいと願っています。

年間を通して行う「家庭学習」ですが、特に意識して取り組んでほしいという願いから、本校では「がんばり週間」を設定しています。年2回の設定ですが、しっかりと定着してほしいと願っています。

・・・実施後の教員の感想、コメント・・・

- 宿題に継続して取り組むことで、家庭でも学習する習慣が身に付いてきたと感じる。
- (低学年でも)自主学習に取り組む児童がいた。
- (その日に学校で)学習した内容のものを復習している児童が多かったので、基礎学力の定着につながったように感じる。
- 参考になる児童の自主学習ノートをコピー・掲示して他の児童に見せたことで、お手本にしたり、「自分も掲示してほしい」と積極的に取り組んだりする児童が見られた。
- 漢字テストの実施日を意識して、計画的に自主学習に取り組む児童が増え、提出率が上がった。

校務用員ですが、上野さんが12月末で辞められ、1月から藤原さんがいらっしゃいました。

どうぞよろしくお願いいたします。

